



Cisco SRE-V と E シリーズ サーバの設定の違い

Cisco Services Ready Engine Virtualization (Cisco SRE-V) と E シリーズ サーバの設定には主に 2 つの違いがあります。

- ルータ設定の違い。
- VMware vSphere Hypervisor™ 設定の違い。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ルータ設定の違い, 1 ページ](#)
- [VMware vSphere Hypervisor の設定の違い, 2 ページ](#)

ルータ設定の違い

次の表に、Cisco SRE-V および E シリーズ サーバ の設定の主な違いを例示します。

表 1: Cisco SRE-V と E シリーズ サーバのルータ設定の違い

Cisco SRE-V の設定	Cisco E シリーズ サーバの設定
<pre>GigabitEthernet0/0 10.0.0.1 255.0.0.0 sm 1/0 ip unnumbered GigabitEthernet0/0 service-module ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 service-module ip default-gateway 10.0.0.1 interface SM1/1 switchport mode trunk ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 sm1/0</pre>	<pre>GigabitEthernet0/0 10.0.0.1 255.0.0.0 ucse 1/0 ip unnumbered GigabitEthernet0/0 imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1 imc access-port shared-lom console interface ucse1/1 switchport mode trunk ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse1/0</pre>

次の違いに留意してください。

- E シリーズ サーバでは、`sm slot/port` コマンドは `ucse slot/port` コマンドに置換されます。
- E シリーズ サーバでは、`service-module` キーワードは `imc` キーワードに置換されます。
- E シリーズ サーバでは、`default gateway` コマンドは `imc ip address` コマンドと同じコマンドに常駐します。
- E シリーズ サーバには異なる外部インターフェイスがあるため、`imc access-port` コマンドを使用してアクセス ポートを指定する必要があります。
- E シリーズ サーバでは、専用インターフェイスを使用するか、マザーボード（共有 LOM）インターフェイス上の共有ローカルエリアネットワークのいずれかを使用し、CIMC アクセスを設定できます。「[CIMC アクセスの設定](#)」を参照してください。

上の例では、`imc access-port shared-lom console` コマンドはコンソール インターフェイスを使用して CIMC にアクセスします。ここで、

- `imc access-port` : E シリーズ サーバへの物理イーサネット接続。
- `shared-lom` : 共有 LOM。
- `console` : ルータ インターフェイス。

サーバへのセッションを実行するコマンドも変わりました。

- Cisco SRE-V では `service-module sm slot/0 session` コマンドを使用し、サーバに対するセッションを実行します。
- E シリーズ サーバでは、`ucse slot session {imc | host}` コマンドを使用し、サーバに対するセッションを実行します。

VMware vSphere Hypervisor の設定の違い

Cisco SRE-V では、VMware vSphere Hypervisor™ ホストの IP アドレスはサービス モジュールの IP アドレスと同じです。たとえば、Cisco SRE-V ではサービスモジュールの IP アドレス 10.0.0.2（次の表を参照）は VMware vSphere Hypervisor™ ホストにも割り当てられています。

表 2: Cisco SRE-V と E シリーズ サーバのルータ設定の違い

Cisco SRE-V の設定	Cisco E シリーズ サーバの設定
<pre>GigabitEthernet0/0 10.0.0.1 255.0.0.0 sm 1/0 ip unnumbered GigabitEthernet0/0 service-module ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 service-module ip default-gateway 10.0.0.1 interface SM1/1 switchport mode trunk ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 sm1/0</pre>	<pre>GigabitEthernet0/0 10.0.0.1 255.0.0.0 ucse 1/0 ip unnumbered GigabitEthernet0/0 imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1 imc access-port shared-lom console interface ucse1/1 switchport mode trunk ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse1/0</pre>

ただし、E シリーズ サーバでは `imc ip` アドレス（同じく 10.0.0.2、上の例を参照）は CIMC アクセス用として予約されています。Web ブラウザにこの IP アドレス（10.0.0.2）を入力し、CIMC の GUI にアクセスします。

E シリーズ サーバで VMware vSphere Hypervisor™ は DHCP を使用して IP アドレスを割り当てるか、VMware vSphere Hypervisor™ ホストに固定 IP アドレスを割り当てることができます。「[VMware vSphere Hypervisor へのスタティック IP アドレスの割り当て](#)」を参照してください。

